

# 団体競技「徒手」規則（2022年愛知県特別ルール）

【総則】 原則として、2022-2024年（財）日本体操協会新体操競技規則を基本とし、音楽の選択を中心に個性ある構成を創り出し5名で表現すること。

【難度の数とレベル】 団体演技には以下の難度が含まれなければならない。

	難度	数	価値
DB	身体難度 (実施順)	最低 3 個 最高 8 個	各身体難度の価値
		ジャンプ・バランス・ローテーション全員で各 1 個以上行うこと。 サブグループは 2 個まで可能 コンバイン難度は禁止	
	全身の波動 (w)	最低 2 個	0
DA	連係 (実施順)	最低 6 個 最高 13 個	
		足をフロアについたままパートナーの間や下をくぐり抜ける	0.1
		膝より下にいるパートナーの上を通過する*垂直軸での回転を含む	0.1
		膝より上にいるパートナーの上を通過する*垂直軸での回転を含む	0.2
		プレアクロバットを入れて膝より下にいるパートナーの上を通過する プレアクロバットを入れて膝より上にいるパートナーの下を通過する *同じプレアクロバットグループ内の繰り返しは不可	0.3
		プレアクロバットを入れて膝より上にいるパートナーの上/中を通過する *同じプレアクロバットグループ内の繰り返しは不可	0.4
	腰より上に持ち上げるリフト ※1 回のみ ※5人全員でリフティングを行う。他の連係と組み合わせることはできない		0.5

\*プレアクロバット要素は各グループから 1 回 (各グループ床上でパートナー達の補助を伴うパートナー達の上で実施することができる。これらは異なる要素とみなす。)

ダンスステップコンビネーション *ステップ中はステップのみの動きにする	最低 2 個	0
-------------------------------------	--------	---

【点数の配分】

得点			
第 1 グループ (DB)	第 2 グループ (DA)	芸術 (10 点)	技術 (10 点)
身体難度を演技順に評価	連係を演技順に評価	芸術的欠点	技術的欠点
(例) 全て価値 0.2 の価値を行った場合 $0.2 \times 7 \text{ 個} = 1.4$	選手間の連係 $0.1 + 0.2 + 0.1 + 0.5 = 0.9$	<ul style="list-style-type: none"> <li>動きの特徴</li> <li>ダンスステップ</li> <li>ダイナミックな変化</li> <li>身体の表現</li> <li>共同作業</li> <li>フォーメーション</li> <li>統一性</li> <li>つながり</li> <li>リズム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体の動き</li> <li>総則</li> <li>基礎技術</li> <li>ジャンプ</li> <li>バランス</li> <li>ローテーション</li> <li>プレアクロバット</li> <li>同時性</li> <li>フォーメーション</li> </ul>

## ◆構成の減点表

	難度	最低/最高	減点 0.30
DB	身体難度、	最低 3 個	<ul style="list-style-type: none"> <li>各身体グループが 1 難度より少ない不足の各身体難度に対して減点</li> <li>各身体グループから 1 難度が 5 名全ての選手により同時（または素早い連続にて：サブグループではなく）実施されていない</li> <li>3 個より少ない BD の実施</li> </ul>
	全身の波動 (W)	最低 2 個	各不足に対し減点
DA	連係	最低 6 個	各不足に対し減点

## ◆実施の減点表

2022-2024年（財）日本体操協会新体操競技規則に準じる